



# 黒須としたか

活動レポート  
田園海浜文化都市宣言  
CROSS通信

事務所：大網白里町大網33-8サンモア内 TEL0475-73-4126（ナミヨイフロ）  
自宅：大網白里町仏島28-8 TEL0475-73-8615 FAX0475-70-2666  
<http://www.geocities.jp/ooamicross/> Eメール:ooamicross@ybb.ne.jp

## 生産年齢人口増やす政策誘導を

### 人口ピークは2015年、51500人で頭打ち？

#### 2月3月議会質問から

**黒須** 千葉県人口は、昨年初めて減少に転じた。しかし市町村単位では、それぞれの立地や政策で増減が出る。

私は、本町の基幹産業は、サラリーマン産業（通勤産業）だと以前から言っている。本町にとって、生産年齢人口を増やす努力を進めることが生き残り策の最重点課題だと考える。

本町における人口推移・予測は？

**企画政策課長** 平成27年までは増加し、それ以降は減少に推移する。総合計画の目標年度の平成32年では、51500～51700と推計している。53000人を目標値としている。

**黒須** 本町においては人口は微増で推移しているが、中身をみると21世紀に入ってから一度も自然増がない。

世帯数は現在もそれなりに増加しているが、昨年度は191世帯増えても人口は27人しか増えていない。

今までは5団地で大幅に世帯

数が増え、人口増の牽引役となっていたが、今まで程は人口増にはつながらない。

**企画政策課長** まだ余剰のある5団地への人口流入を期待している。市制施行も起爆剤になるのではないかと。何か政策的にうってでなければならぬという危機感を持っている。

**黒須** 今後、税収の推移は？

**税務課長** 個人町民税についてみてみると、21年度から24年度で2億5千万円縮小している。平成19年度から23年度までの納税義務者数は490人ほど増加しているにもかかわらず、そのうち年金所得者を主体とする層が約76%を占め、増加傾向にある。歳入は厳しい状況が続いていくと考えられる。

**黒須** 高齢人口増にともなう病気が何が増えていくのか。慢性期の医療がパンクするのではないか。

**住民課長** 後期高齢者医療の被保険者数は、県全体では毎年4%～5%増えている。本町では毎年3%前後、約150人増加していて、全体で5413人。千葉

県後期高齢者医療広域連合の統計では、受診件数では、高血圧性疾患が21%を占め、次に虫歯、糖尿病と続く。診療点数で多いのは高血圧性疾患、脳梗塞、腎不全、心疾患など。

一人あたりの医療費は年齢階層が上昇するほど高くなっており、なかでも入院に関わる医療費の占める割合が高くなる傾向にある。医療費保健制度は年々厳しい事業運営が予想される。

**黒須** 介護施設・人員をどの程度増やす必要があるのか。

**健康介護副課長** 平成32年度の参考推定値としては、介護施設の入所者数は約430人となる。23年度は約270人なので、今後160床の整備と約100人の介護人員増が必要となる。

**黒須** 国立社会保障人口問題研究所によると本町の実年齢人口は、15年後には4千人減る。65歳以上は5千人増える。これは現役世代が減るということで、個人の税収が減るだけでなく、消費も減り、町の活力も損なわれていく。今後の政策誘導に期待する。